

「本学学生の就職状況・キャリア支援の現状について」

中野 春美

<就職状況>

この数年景気の緩やかな回復とともに団塊世代の定年退職を背景に企業の採用意欲が活発であり、本学学生の就職状況は好調であった。2000年前後の就職氷河期と呼ばれた時代は1.0倍程度で推移していた求人倍率は、2007・2008年度と2.14倍になり学生には恵まれた環境となった。それに伴い学生の大手志向はより強まった。一方企業にとっては採用難となり、採用活動の早期化が進んだ。しかし、アメリカに端を発した不況の波が2008年秋以降学生の就職活動にも影響を与え、本学でも内定取消や内定先を辞退せざるを得ない状況の学生が出ることとなった。幸い卒業後5月に就職が決まった1名を含めその全員が就職することができた。

2008年度卒業生は1413名、そのうち83.0%が就職を希望し、その98.7%が内定を得た。高い就職率となっている。就職先への学生の満足度も97.6%と大変高くなっている。就職状況は以下の表のとおりである。

2009年度4年次の就職活動は、不況の影響を受け企業が採用数をかなり抑えており、相当厳しいものになっている。厳選採用傾向が更に強まり、内定を容易に取る学生と苦戦する学生の二極化はより鮮明になっている。

2009年3月卒業生 産業別就職者数						職種別就職者数						2009年4月17日現在	
産業名	家	文	理	人社	計	%	職種名	家	文	理	人社	計	%
建設	35	8	0	13	56	4.8	研究	13	0	8	0	21	1.8
製造	39	15	20	27	101	8.7	教員	31	8	5	52	96	8.3
出版・印刷	3	4	1	5	13	1.1	設計	14	0	4	0	18	1.6
卸・小売	79	34	7	38	158	13.6	S E	11	21	43	20	95	8.2
金融	82	100	23	95	300	25.9	事務・秘書	114	134	25	151	424	36.6
運輸・通信	14	24	8	19	65	5.6	企画・広報	2	1	1	4	8	0.7
電気・ガス	2	0	0	0	2	0.2	営業	125	100	22	111	358	30.9
教育	35	16	5	59	115	9.9	販売	39	16	1	11	67	5.8
医療・福祉	5	0	0	3	8	0.7	栄養士	18	0	0	0	18	1.6
調査・研究	16	26	7	21	70	6.0	福祉	4	1	0	15	20	1.7
情報処理	14	22	32	32	100	8.6	司書	0	1	0	0	1	0.1
サービス	36	32	7	32	107	9.2	編集	5	3	2	3	13	1.1
公務	14	6	0	17	37	3.2	サービス	4	7	0	4	15	1.3
その他	10	5	1	10	26	2.2	その他	4	0	0	0	4	0.3
合計	384	292	111	371	1,158	100.0	合計	384	292	111	371	1,158	100.0

<キャリア支援>

当課におけるキャリア支援は、就職支援とキャリア委員会の下のキャリア形成科目である。

《就職支援》

就職ガイダンスは3年次の6月から開始される。内容は以下のとおりである。就職希望者必須ガイダンスは5回（キャリアデザイン、就職活動体験報告会、業界研究、自己分析とエントリーシート、面接対策）。そのほか業界・企業研究会、教員、公務員、卒業生との懇談会、体験型のものなどの各種ガイダンスは20種類程度あり、この中には低学年から受講可能なものもある。各種模擬試験も実施している。

4年次向けには教員、公務員、企業研究会を開催している。2009年度は前述のとおり就職環境が厳しいため、急遽模擬面接を含めたフォローガイダンスと他大学との合同企業説明会を企画し内定につなげることができた。

就職関連行事については、カウンセリングセンター・メディアセンター・生涯学習センター・桜楓会などとも連携を取っている。

集団を対象とした行事とは別に個別相談は就職支援で大きな役割を果たしている。2008年1月～12月の個別相談件数は約3300件である。そのほとんどを当課員が対応しており、一部外部キャリアカウンセラーや4年次内定保持者が行っている。内容は就職に関する相談や悩み、エントリーシートの添削などである。学生の低年齢化やメンタル面の問題など相談業務は複雑化している。そのためキャリアカウンセラーの資格取得や研修などにより課員のスキル向上に努めている。当課で対応できないものについてはカウンセリングセンターの協力を得ている。2009年は景気への不安感や企業の採用の早期化等により学生の相談件数は大幅に増加しており、1月～9月までの件数は既に昨年1年間分を超えている。

以上のガイダンス及び個別支援に関しては、学生から高い評価を受けているとともにこれらの丁寧な支援が、本学の就職率の良さにつながっている。

《キャリア形成科目》

キャリア委員会の下目白キャンパス10科目、西生田キャンパス6科目を開講している。毎年1200名以上の学生が受講し低学年からのキャリアに対する意識付けをおこなっている。講義科目だけでなくオムニバス形式や演習形式、インターンシップ実習などもあり学生からの授業評価は大変高い。「現代女性とキャリア連携専攻」、「キャリア女性学副専攻」、「リカレント教育・再就職システム」にも科目を提供している。

大学全体としてキャリア関連の科目は充実してきているが、これらを学生が系統的に受講できるよう検討も必要と思われる。

<最後に>

学生は就職について、就職先を見つけることが最終目的と考えがちである。本学のキャリア支援においては、長い人生の中でどのようにキャリアを築いていくか、どのような人生を送りたいかを早期から考えるきっかけ作りを行っている。

学生には、充実した大学生活を送り多くの学びや経験を積んでほしい。その結果は必ず就職にも結びつくであろう。

(なかの はるみ キャリア支援課課長)